

明日の日本を支える子どもたちのために

教員の民間企業 研修レポート

2022



一般財団法人

経済広報センター

はじめに

経済広報センターは、「社会と企業とのコミュニケーション」をキーワードに、1978年に設立され、以来44年にわたり、ビジネス界の考え方や企業活動の実態などについて国内外に広く情報発信するとともに、社会の声を企業にフィードバックする活動に努めてまいりました。

中でも、将来の日本を担う子どもたちの育成を図るため、「教育界とビジネス界とのコミュニケーションの促進」に力を入れており、その取り組みの一環として、この「教員の民間企業研修」を実施しております。

この研修では、学校の教員に様々な民間企業で研修を受けていただき、事業活動に対する考え方や実務内容、人材育成やSDGsへの取り組み、果たすべき企業の社会的責任などについて理解を深めていただけます。さらに、企業での体験を、授業などを通して子どもたちに伝えていただくとともに、今後の学校運営などにも活かしていただいております。

本研修は、1983年に、参加教員5人、受け入れ企業1社でスタートし、回を重ねるごとに、参加教員数、受け入れ企業数ともに年々増加してまいりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2020年は中止、2021年はオンラインによる研修となりましたが、39年目を迎えた2022年は、3年ぶりに対面で研修を実施いたしました。1,153人の教員が、68の企業・団体の研修に参加し、実践的な研修プログラムを通じて、相互理解を深めました。なお、累計では、24,130人の教員が、279社で研修を体験されたこととなります。

少子高齢化社会を迎えているわが国が、社会の活力を今後とも維持・発展させていくためには、その礎となる教育システムの充実が欠かせません。これからの日本を支える人材を育成するためにも、企業の取り組みや経済活動の実際の姿を教育界に伝える重要性がますます高まっているといえます。

経済広報センターは、これからも教育界とビジネス界の懸け橋として、教育界とのコミュニケーションを促進してまいります。今回の研修にご協力いただきました企業関係者や学校関係者、そして参加された教員の皆さまに感謝いたしますとともに、当センターの活動に引き続きさらなるご協力、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

2023年1月

一般財団法人 経済広報センター
専務理事・事務局長

渡辺 良

CONTENTS

はじめに	1
2022年度 教員の民間企業研修の概要	4
2022年度 教員の民間企業研修 1年の流れ	6
教員の民間企業研修Q&A	8
企業別研修レポート	11
研修風景	46
参加教員の声	49
2022年度 協力企業一覧・参加教育委員会一覧	51

[用語解説]

- CS……………お客さま満足（度）
- CSR……………企業の社会的責任
- CX……………顧客体験
- DX……………デジタルトランスフォーメーション
- ESG……………環境・社会・ガバナンス
- SDGs……………持続可能な開発目標

企業別研修レポート CONTENTS

旭化成株式会社	12	一般財団法人電力中央研究所	29
朝日生命保険相互会社		東京海上日動火災保険株式会社	
株式会社伊予銀行	13	東京ガスネットワーク株式会社	30
株式会社 I N P E X		東レ株式会社	
S M B C 日興証券株式会社	14	戸田建設株式会社	31
E N E O S 株式会社		中日本高速道路株式会社	
MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社	15	西日本旅客鉄道株式会社	32
一般社団法人大阪銀行協会		株式会社日清製粉グループ本社	
株式会社大林組	16	ニッセイアセットマネジメント株式会社	33
カシオ計算機株式会社		日本アムウェイ合同会社	
川崎重工業株式会社	17	日本証券業協会	34
関西電力株式会社		日本製鉄株式会社	
キッコーマン株式会社	18	一般社団法人日本損害保険協会	35
キヤノン株式会社		日本郵船株式会社	
キューピー株式会社	19	野村ホールディングス株式会社	36
株式会社きんでん		株式会社長谷工コーポレーション	
京葉ガス株式会社	20	日立造船株式会社	37
五洋建設株式会社		古河電気工業株式会社	
三機工業株式会社	21	丸紅株式会社	38
清水建設株式会社		みずほ証券株式会社	
一般社団法人情報サービス産業協会	22	三井化学株式会社	39
一般社団法人信託協会		三井物産株式会社	
住友重機械工業株式会社	23	三井不動産株式会社	40
一般社団法人生命保険協会		三菱地所株式会社	
株式会社セレスポ	24	三菱自動車工業株式会社	41
一般社団法人全国農業協同組合中央会		三菱商事株式会社	
双日株式会社	25	三菱マテリアル株式会社	42
S O M P O ホールディングス株式会社		三菱 U F J 国際投信株式会社	
第一生命保険株式会社	26	三菱 U F J ニコス株式会社	43
株式会社大和証券グループ本社		メタウォーター株式会社	
大和ハウス工業株式会社	27	ヤマト運輸株式会社	44
株式会社竹中工務店		雪印メグミルク株式会社	
TIS株式会社	28	株式会社りそなホールディングス	45
一般社団法人電子情報技術産業協会		一般財団法人経済広報センター	

2022年度 教員の民間企業研修の概要

教員の民間企業研修とは？

小・中・高等学校などの教員が学校の夏休み期間中に、民間企業で様々な研修を受けるプログラムです。

全国各地の民間企業や教育委員会などの協力のもと、一般財団法人 経済広報センターが1983年から実施しており、今年で39年目を迎えます。

研修の目的

- ① 小・中・高等学校などの教員に、企業の事業活動に対する考え方や実務内容、人材育成やSDGsへの取り組みなどについて理解を深めていただく。
- ② 企業研修での体験を子どもたちへ伝えていただくとともに、今後の学校運営などにも活かしていただく。

2022年度の研修概要

【研修参加者】 小・中・高等学校の教員・管理職（教頭）など

【研修時期】 7月25日～8月24日（学校の夏休み期間中）

【研修期間】 1～3日間

【受け入れ企業数】 68社 [対前年度比 27社増]

【参加教員数】 1,153名 [対前年度比 169名増]

【研修の内容】 体験型のプログラムや講義プログラムなどが多数用意されており、受け入れ企業ごとにプログラムは異なります。

※詳しくは「企業別研修レポート」のページをご覧ください。

2022年度の研修の特徴

① 3年ぶりとなるリアル開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2020年度は中止、2021年度はオンラインでの開催となりましたが、3年ぶりにリアル形式で開催しました。

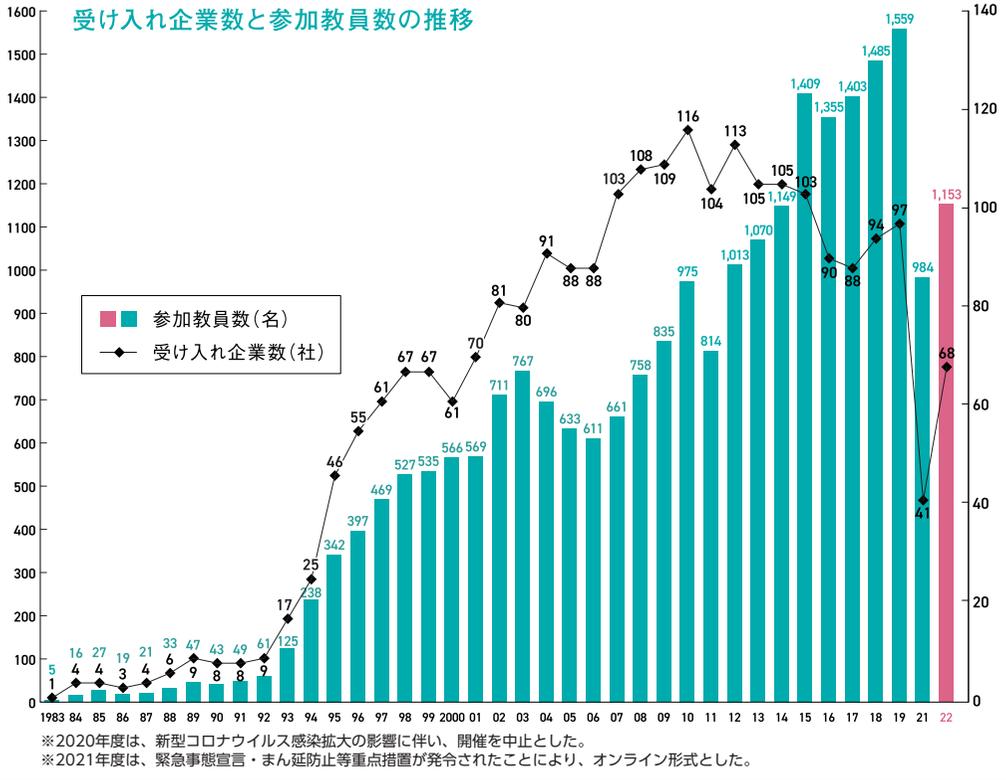
② バリエーションに富んだ研修プログラム

企業理念や人材育成などの講義に加え、業務体験、工場・施設見学、グループワーク、社員との意見交換など、様々なプログラムが取り入れられました。

③ 研修での体験を、子どもたちや学校現場に還元

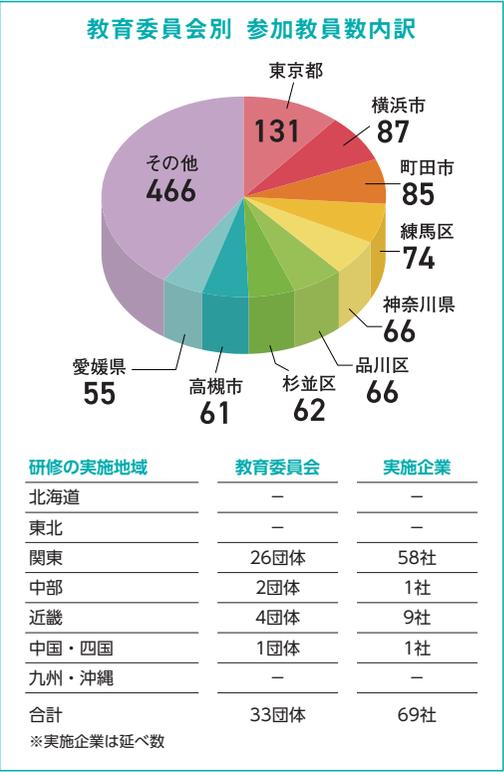
今年度も参加教員に、研修で学んだことを教育現場で活用していただきました。

データで見る教員の民間企業研修 (1983-2022)



2022年度 通算10年以上研修受け入れ企業 (44社)

五洋建設	28年	日本証券業協会	16年
西日本旅客鉄道	28年	三井物産	16年
関西電力	27年	信託協会	15年
東レ	27年	三井化学	15年
日本郵船	26年	大林組	14年
ENEOS	25年	三菱自動車工業	14年
日本製鉄	25年	双日	13年
丸紅	24年	中日本高速道路	13年
きんでん	23年	ニッセイアセットマネジメント	13年
三菱地所	23年	キャノン	12年
三菱マテリアル	23年	生命保険協会	12年
SMB C日興証券	22年	TIS	12年
野村ホールディングス	22年	東京海上日動火災保険	12年
大和証券グループ本社	21年	旭化成	11年
三菱商事	21年	伊予銀行	11年
キッコーマン	20年	大和ハウス工業	11年
電力中央研究所	19年	清水建設	10年
三菱UFJニコス	19年	情報サービス産業協会	10年
カシオ計算機	18年	第一生命保険	10年
リソナホールディングス	17年	日本損害保険協会	10年
京葉ガス	16年	三井不動産	10年
SOMPOホールディングス	16年	ヤマト運輸	10年

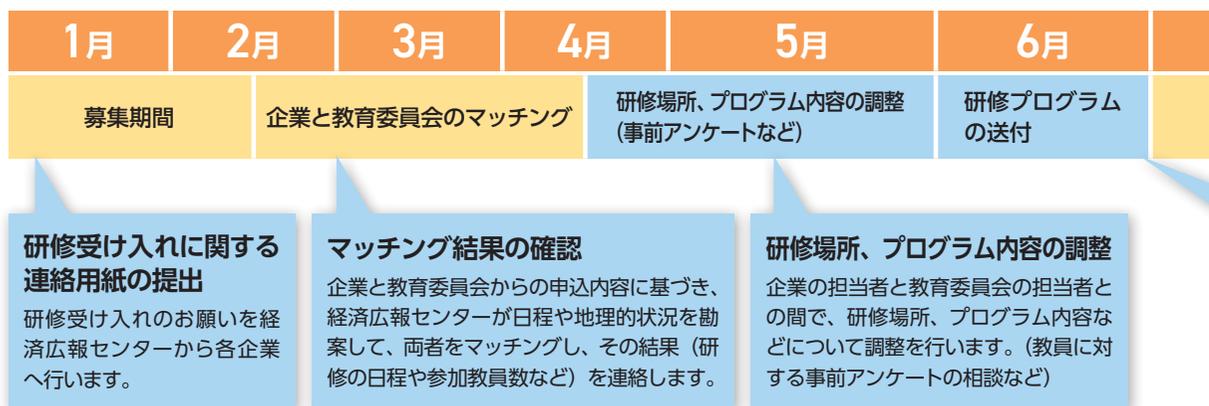


2022年度 教員の民間企業研修1年の流れ

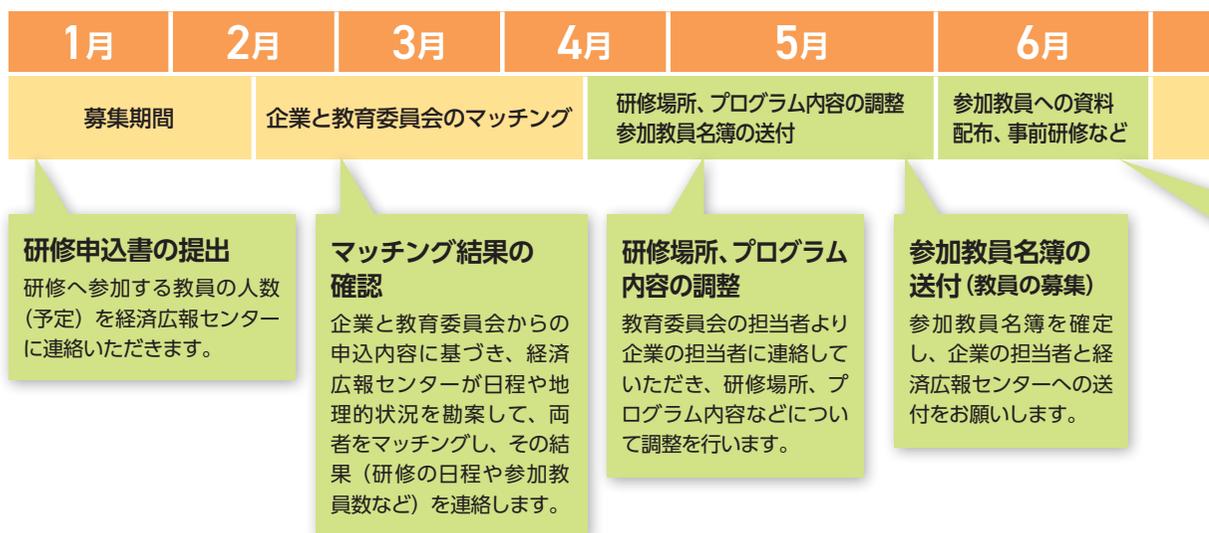
このプロジェクトは、企業、教育委員会（私学団体）、学校、そして参加いただく教員の皆さまの協力によって運営されています。

■ 企業 ■ 教育委員会 ■ 教員 ■ 経済広報センター

企業の流れ



教育委員会の流れ



7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
	研修期間 7/25 ~ 8/24	レポート作成				レポート 完成

研修プログラムの送付

教育委員会と経済広報センターへの送付をお願いします。

アンケート、写真(※任意)の提出

研修内容についてのアンケートおよび研修中に撮影した写真(※任意)を、経済広報センターまで送付いただけます。

レポート原稿案の確認

アンケートを基に、経済広報センターで作成したレポート原稿案を送付します。内容の確認をお願いします。

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
	研修期間 7/25 ~ 8/24	レポート作成				レポート 完成

参加者への意識付け

研修開始前、事前研修などで、プログラムや本レポートなどを用い、各教育委員会から教員への研修参加に対する意識付けをお願いします。(心構えや、学びたいことを事前に考える)

振り返り課題の提出

研修の内容についてのアンケート(振り返り課題)の提出をお願いします。

活用事例(※任意)の提出

授業などで活用した事例の提出をお願いします。

研修終了後、参加教員に、体験を子どもたちに伝え、学校現場に活かしていただくよう、お声掛けをお願いします。

皆さまの疑問にお答えします。

教員の民間企業研修

Q&A

研修全体

Q1 経済広報センターの役割を教えてください。

A1 経済広報センターは、日本経済団体連合会（経団連）の関連組織で、経済界の考え方や日本の企業・業界が社会に貢献している姿を、教育界や生活者などにお伝えする広報活動を行っています。「教員の民間企業研修」は教育界向けに行っている事業のひとつであり、経済広報センターは、企業と教育委員会の間で、研修日程や人数の調整（マッチング）、取りまとめ、報告レポートの作成を行っています。

Q2 教員の参加企業はどのように決まるのですか。

A2 受け入れ企業と参加教育委員会を募集し、双方の希望日程・地理的条件などを勘案して、経済広報センターにてマッチングを行います。個別の教員の派遣先は、教育委員会が調整・決定します。

企業の皆さまへ

Q3 教員からの要望の多いプログラムを教えてください。

A3 一般にご要望が多いのは、人材育成やCSR・SDGs、CSや環境への取り組み、お客さま対応、リスクマネジメントなどの取り組みです。また、工場などの現場見学、営業活動や作業の体験、社員との意見交換などもご要望の多いプログラムです。出前授業など子ども向けのプログラムの紹介や、すぐに授業に応用できそうな研修内容は、より反響が大きいプログラムのひとつです。

Q4 事前に、研修内容に関する教員のニーズや、実施に当たっての必要事項を確認したいのですが。

A4 マッチング後、教育委員会を通じて、教員に対する事前アンケートを実施していただけます。個人情報に関わる質問についてはお受けできない場合がございますので、アンケートの内容は事前に教育委員会と調整していただけますようお願いいたします。

Q5 事前に、研修内容について参加教員と直接打ち合わせをすることはできますか。

A5 参加教員が決まるのは、例年5月末頃となり、教育委員会と学校を通してのご連絡となるため、スケジュール上難しいといえます。研修内容は、教育委員会と調整の上、検討いただけますようお願いいたします。

Q6 参加教員に連絡したい場合はどうすればよいですか。

A6 個人情報保護の観点から、教員への連絡は、教育委員会を通じてお願いします。

Q7 一度提出した研修プログラム案について一部変更したい場合、どのようにすればよいですか。

A7 例年6月末頃までにご提出いただく研修プログラム案について変更が生じた場合、変更後のプログラム案を教育委員会と経済広報センターに速やかにご提出ください。また、参加教員には教育委員会と学校を通してのご連絡となることから、プログラム案の変更に当たっては研修実施までに時間の余裕をもって行っていただけますようお願いいたします。

Q8 教育委員会や、教員の年次、担当教科などを指定することはできますか。

A8 企業と教育委員会のマッチングは、できる限りご要望に沿えるよう調整いたしますが、それぞれの実施・参加可能な日程、場所など物理的な条件を踏まえて決めるため、必ずしもご要望にお応えすることはできません。

Q9 研修をその後の企業活動に活用している事例があれば教えてください。

A9 参加教員とのつながりを大切にし、出前授業への展開や企業情報の提供、教育現場についての情報交換など、相互理解促進の機会に活用している企業もあると聞いています。

Q10 研修中、保険に加入いただきたい場合はどうすればよいですか。

A10 必要に応じて、各教育委員会にご相談・ご確認をお願いします。

教育委員会の皆さまへ

Q11 研修プログラム（人材育成、お客さま対応、危機管理など）について企業に希望することはできますか。

A11 マッチング後、受け入れ企業の担当者との間で、プログラム内容や研修場所などについて調整していただけます。その際に希望するプログラムや課題意識をお伝えください。受け入れ企業にはそれぞれの事業特性があるため、全てのご希望に沿うことはできないかもしれませんが、教育委員会と受け入れ企業が共通の目的意識をもって研修を実施することで、研修効果は高まります。

Q12 人事異動などで、参加教員数が増えたり減りました。どうすればよいですか。

A12 変更を把握された時点で、速やかに経済広報センターにご連絡ください。受け入れ企業の準備に影響がありますので、企業へ参加教員名簿を送付した後については、企業のご担当者へも必ずご連絡ください。

Q13 教育委員会の職員が傍聴したい場合はどうすればよいですか。

A13 企業のご担当者にご確認ください。なお、入館手続きやセキュリティの問題があるため、必ず事前にご連絡をお願いします。

Q14 より有意義な研修とするために、研修前後でどのような取り組みをしたらよいですか。

A14 ある教育委員会の事例、および期待する姿についてご紹介します。

研修前（6、7月頃）

参加教員を集めて事前研修を行い、研修の意義や目的を明確にするとともに、疑問点などを解消することで、参加教員の目的意識や意欲を向上させる工夫をします。

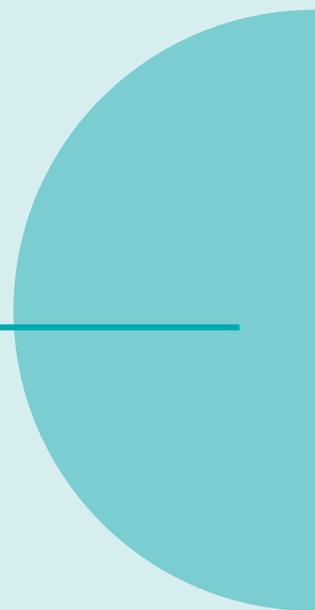
研修後

- ・実践発表の場で、自分が研修を受けた企業以外の研修内容を学ぶ機会をつくります。
- ・グループ討議によってさらに発展させ、学校現場でどのように活用できるか、具体的に検討する機会を設けます。
- ・さらに、研修後の活用状況を振り返り、体験の定着を図るとともに、来年度以降の活用方法を再検討します。

Q15 個人での参加申し込みは可能ですか。

A15 原則、教育委員会を通じての申し込みとなります。個人での参加申し込みは受け付けておりません。

企業別研修レポート



旭化成株式会社

受け入れ実績 11年目 実施日 8/8(月) 参加教員数 15名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 旭化成グループの概要
- 2 川崎製造所の概要
- 3 振り返り

クローズアップ

川崎製造所の人財育成

- 「人材」ではなく「人財」と書き、役職ではなく「〇〇さん」と呼ぶ文化、企業風土
- 「自主的」ではなく「主体的」な人を育てる人財育成
- 主体的に取り組むための新しい発想のヒントとして「ラテラルマーケティング(水平思考)」を紹介

企業の中で実践している「人財育成」や「安全文化」の構築における考え方やノウハウなどを紹介し、教育現場でも活用していただくことで、「次世代育成」に貢献したいと考えています。

朝日生命保険相互会社

受け入れ実績 9年目 実施日 8/22(月) 参加教員数 22名(東京都品川区教育委員会、東京都杉並区教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 人財活躍推進戦略
- 3 女性活躍推進の取り組み
- 4 グループディスカッション
- 5 役員との意見交換
- 6 働き方改革推進の取り組み
- 7 DX戦略の取り組み
- 8 SDGsの取り組み
- 9 商品開発
- 10 社会保障制度と生命保険の必要性
- 11 社員との意見交換

クローズアップ

当社の働き方改革について ~イキイキと働く。そして成長する。~

- 人財活躍推進戦略
- 働き方改革推進の全体像
- 生産性指標

働き方改革推進の背景や取り組みを知っていただくとともに、コミュニケーションツールを使用した実際の働き方について体験していただきました。質疑応答を通じて、学校・企業における働き方改革の問題意識の共有を図ることができました。

株式会社伊予銀行

受け入れ実績 11年目 実施日 ①8/18(木)、②8/22(月)、③8/23(火) 参加教員数 55名 (愛媛県教育委員会)

主なプログラム

- 1 企業理念、銀行業務、社会貢献
- 2 人事制度、コンプライアンス
- 3 施設見学
- 4 研修体験、金融教育
- 5 意見交換

クローズアップ

銀行業務・ESG（環境・社会・ガバナンス）とSDGsへの取り組み

- 企業理念
- 事業トピックス
- ESGとSDGsへの取り組み

企業理念に基づく伊予銀行の業務と地域経済への関わりをお伝えします。「新たな価値を創造・提供し続ける企業グループ」を目指すための、デジタルの活用やESGとSDGsへの取り組みも紹介しました。

株式会社 INPEX

受け入れ実績 3年目 実施日 8/17(水)～8/19(金) 参加教員数 13名 (東京都練馬区教育委員会、東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

- 1 日目
 - 1 会社概要、エネルギー業界を取り巻く現状
 - 2 再生可能エネルギー事業
 - 3 新分野事業
 - 4 中堅社員との意見交換
- 2 日目
 - 1 CSR、サステナビリティ
 - 2 技術研究所の活動
- 3 日目
 - 1 広報活動
 - 2 海外駐在経験社員との意見交換
 - 3 研修制度、人材育成、人事評価制度、ダイバーシティ
 - 4 グループワーク
 - 5 意見交換

クローズアップ

技術研究所の見学

- 技術研究所の取り組み
- 技術研究所内の見学
- 研究員との意見交換

技術研究所でエネルギー開発に必要な最先端の技術について触れていただき、普段なかなか見ることのできない研究開発の現場で、日本のエネルギーを支える技術を体感していただけたらと思います。

SMBC日興証券株式会社

受け入れ実績 22年目 実施日 ①8/9(火)、②8/17(水) 参加教員数 33名 (①横浜市教育委員会、②東京都葛飾区教育委員会、東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 サステナビリティ推進活動の取り組み
- 3 ダイバーシティ&インクルージョンの取り組み
- 4 人材育成の取り組み
- 5 金融経済教育
 - 資産形成プログラム
 - 金融商品(株式)の基礎を学ぶ
- 6 非対面チャネルでの取り組み
- 7 ワークショップ
 - ニュースで読み解く投資術「連想ゲーム」
 - カードゲーム「アセットモンスター」体験
 - 先生の夏休みの自由研究
- 8 発表・意見交換・振り返り

クローズアップ

ワークショップ「先生の夏休みの自由研究」

- 金融教育を取り入れた授業の具体案を制作
- グループごとの発表
- 振り返り

研修で理解を深めていただいた知識と、同世代の教員との意見交換を通じて、実際の教育現場で金融教育を取り入れていただく際の参考にさせていただければと思います。

ENEOS株式会社

受け入れ実績 25年目 実施日 7/29(金) 参加教員数 9名 (東京都杉並区教育委員会)

主なプログラム

- 1 水素情報発信拠点「スイソテラス」見学
- 2 事業概要
- 3 人材関連制度
- 4 グループワーク

クローズアップ

学校内の課題とその解決策を考える

- ENEOSのいきいき人事施策の紹介
- 教育現場の課題意識の洗い出しと共有
- 解決策の立案

ENEOSの人事施策への理解を深めると同時に、グループワークを通じた教員同士の意見交換により得られた知見や刺激を学校教育および教育環境の向上に活かさせていただければと思います。

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

受け入れ実績 3年目 実施日 8/22(月)～8/24(水)

参加教員数 11名 (東京都荒川区教育委員会、東京都江戸川区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 MS&ADグループの概要
- 2 サステナビリティの取り組み
- 3 サステナビリティコンテストの概要
- 4 生物多様性保全の取り組み(三井住友海上)

2日目

- 1 SDGsへの取り組み
- 2 サステナビリティの取り組み(三井住友海上あいおい生命)
- 3 オリジナルビジネスゲーム「Life 100」(三井住友海上プライマリー生命)

3日目

- 1 東京2020パラリンピック1周年記念イベント見学

クローズアップ

駿河台ビル緑化取組・生物多様性保全活動

- 駿河台ビル緑化取組と屋上庭園を活用した環境教育、SDGsへの貢献
- 三井住友海上駿河台ビル屋上庭園と周辺緑地の見学
- 水辺と生物多様性の環境教育授業ダイジェスト体験

保険会社にとっても自然資本の保全、気候変動への対応は重要な課題であり、駿河台ビルにおける緑化取組とSDGsを意識した環境教育の取り組みを紹介しました。身近な所に自然があることの意義を感じていただきました。

一般社団法人大阪銀行協会

受け入れ実績 8年目 実施日 8/22(月)～8/23(火)

参加教員数 9名 (大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 造幣局見学
- 2 銀行支店長の仕事
- 3 生活設計・マネープランゲーム体験

2日目

- 1 現場における問題解決
- 2 金融機関の種類・機能と役割
- 3 日本銀行大阪支店見学
- 4 意見交換・振り返り

クローズアップ

金融教育や人材育成に関する講義

- 銀行支店長の仕事
- 現場における問題解決の方法
- 金融機関の種類、機能と役割

社会における銀行の機能と役割を学ぶとともに、現場の長である支店長のリーダーシップや問題解決への取り組み方についても理解し、今後の教育活動に役立てていただければと思います。

株式会社大林組

受け入れ実績 14年目 実施日 8/1(月)～8/2(火)

参加教員数 12名 (東京都大田区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 日本初の高層純木造耐火建築物「Port Plus」見学
- 3 人材育成の取り組み
- 4 建設現場見学

2日目

- 1 ダイバーシティへの取り組み
- 2 新領域事業への取り組み
- 3 技術研究所見学
- 4 技術研究員との意見交換

クローズアップ

Port Plus見学

- 最新の環境技術を駆使した施工事例での、脱炭素社会への取り組み
- 木造建築の良さ、ウェルビーイングな空間体験
- 職員研修施設での人材育成、取り組み

純木造のビルとして国内最高層の次世代型研修施設を紹介し、脱炭素社会への取り組みを理解いただき、ウェルネスに配慮した実際の研修施設で、企業の取り組みを参考に学校での人材育成の課題を共に考えていただきます。

カシオ計算機株式会社

受け入れ実績 18年目 実施日 8/8(月)～8/10(水)

参加教員数 6名 (東京都練馬区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要・製品紹介
- 2 人事制度
- 3 グローバルブランドマーケティング
- 4 サステナビリティの取り組み

2日目

- 1 お客様相談窓口
- 2 ショールーム見学
- 3 「榎尾俊雄発明記念館」見学

3日目

- 1 デザイナーの役割
- 2 時計開発について
- 3 教育現場におけるカシオ製品
- 4 振り返り

クローズアップ

榎尾俊雄発明記念館見学

- 世界初の小型純電気式リレー計算機「14-A」による計算デモンストレーション
- 発明にかける情熱・思い
- 発明商品の紹介

メーカーの根幹ともなる「商品」がどのような思いで創られたか、また創業者の思いや考えを実際の商品とともに知っていただくことで、商品開発にかける熱い思いを感じていただければと思います。

川崎重工業株式会社

受け入れ実績 3年目 実施日 8/22(月)～8/24(水)

参加教員数 7名 (大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要・事業説明

2日目

- 1 企業ミュージアム「カワサキワールド」見学
- 2 サステナビリティの取り組み
- 3 イノベーション活動

3日目

- 1 水素事業 (工場見学を含む)
- 2 人財育成の取り組み
- 3 振り返り

クローズアップ

学校と企業の人財育成

- 企業の人財育成制度
- 教員と社員によるグループ討議
- 討議内容の共有と総括

学校と企業で共通する「人財育成」について、その目的の相違点と共通点を、教員と社員がグループ討論を通じて明確化し、その理由を探ることで、人を教育することの意義を確認いただければと思います。

関西電力株式会社

受け入れ実績 27年目 実施日 8/22(月)～8/24(水)

参加教員数 20名 (大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 堺港発電所(火力)見学

2日目

- 1 美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」見学
- 2 美浜原子力PRセンター・美浜発電所(原子力)見学

3日目

- 1 中央給電指令所見学

クローズアップ

原子力発電所の施設見学

- エネルギー理解に関する動画視聴 (ナンデンカンデン劇場)
- 原子力発電所の仕組み、安全対策の解説
- 原子力発電所見学

普段見学できない原子力発電所の仕組みや安全対策の取り組みを説明し、見学いただきました。ベネフィットとリスクを正しく理解いただき、諸課題への取り組みや社員の想いなどを感じていただけたと思います。

キッコーマン株式会社

受け入れ実績 20年目 実施日 8/16(火)～8/17(水) 参加教員数 14名 (東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 ビジネスマナーの基礎
- 3 人事制度・教育制度
- 4 海外事業
- 5 商品開発

2日目

- 1 工場見学・しょうゆづくり体験
- 2 食育・オンラインしょうゆ塾の実践
- 3 国際食文化研究センター講義・見学
- 4 環境への取り組み

クローズアップ

商品開発について・事前課題発表

- しょうゆ・うちのごはんシリーズのプレゼンテーション
- 事前課題（調理レポート）の発表
- 事前課題に対する商品担当からのコメント、意見交換

調理を通しての気付き（家族とのコミュニケーションになること、簡便調味料を使うことで調理に挑戦しやすくなること、自分で考えてアレンジする楽しさなど）を学校教育に活かしていただければと思います。

キヤノン株式会社

受け入れ実績 12年目 実施日 8/1(月)～8/3(水) 参加教員数 3名 (東京都小平市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 「キヤノンギャラリー」見学
- 3 広報・宣伝部門について
- 4 ボリュームトリックビデオスタジオ見学

2日目

- 1 サステナビリティの取り組み
- 2 リサイクル工場「キヤノンエコテクノパーク」見学
 - 小学生向け環境出前授業体験
- 3 バードランチ体験
- 4 意見交換

3日目

- 1 社会貢献活動の取り組み
- 2 写真教室
- 3 人材育成の取り組み
- 4 振り返り

クローズアップ

キヤノンエコテクノパークの見学

- 環境出前授業体験
- 工場見学
- 意見交換

小学校高学年をターゲットにした見学プログラムを体験し、授業で活用するイメージをつかんでいただきます。また、教員の視点から意見を頂戴して改善を加えることで、見学の誘致につなげたいと思います。

キューピー株式会社

受け入れ実績 2年目 実施日 ①7/27(水)～7/29(金)、②8/2(火)～8/4(木) 参加教員数 27名 (①東京都足立区教育委員会、東京都杉並区教育委員会、②東京都三鷹市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 サステナビリティの取り組み
- 3 食育の取り組み
- 4 振り返り

2日目

- 1 研究開発
- 2 オンライン工場見学
- 3 試食会
- 4 品質とそれを支えるものづくりの心
- 5 お客さまとの信頼関係
- 6 キューピーグループのブランド
- 7 振り返り

3日目

- 1 人材育成
- 2 史料館見学
- 3 生産の人材育成について～ものづくり学校の紹介～
- 4 人の成長を支援する
- 5 振り返り

クロズアップ

食品会社の研究所で働くこと

- 研究開発の仕事についての紹介
- 研究所で働く上で大事な能力

日頃見えない研究所の仕事の詳細とともに、研究所で活躍する人材の素養、イノベティブな組織活動に必要な人材、ハイパフォーマーの育て方などについて紹介しました。子どもたちの能力を育てる参考になればと思います。

株式会社きんでん

受け入れ実績 23年目 実施日 8/17(水)～8/19(金) 参加教員数 4名 (大阪府能勢町教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、施設見学
- 2 配電工事実習

2日目

- 1 屋内配線実習
 - 技能五輪概要、練習風景見学

3日目

- 1 配電営業所見学
- 2 配電工事現場見学
- 3 展示施設「心と技の伝承館」見学
- 4 意見交換

クロズアップ

現場作業体験

- 実現場作業の見学（配電線の新設・改修などの工事）
- 電気配線・金属管加工の作業体験
- 高所作業車の搭乗体験

実作業を体験することで電気工事を知っていただき、電線や配管を加工する技能について指導員よりポイントやノウハウを教わることで、モノづくり教育について理解を深めていただきます。

京葉ガス株式会社

受け入れ実績 16年目 実施日 8/5(金) 参加教員数 10名（千葉県松戸市教育委員会）

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 都市ガス事業
- 3 ブランディング活動
- 4 技術研修センター見学
- 5 脱炭素の取り組み
- 6 緊急保安研修センター見学・体験
- 7 CSRの取り組み
- 8 振り返り

クローズアップ

CSRの取り組み

- 当社のCSR活動
- 小学校へ出張授業（出張型）の実演
- 絵画コンクール（社会貢献活動）

経営理念に基づき、様々な社会貢献活動を行っていますが、その中でも、都市ガス供給区域の小学校を対象とした「出張授業」や過去24回開催している「絵画コンクール」の取り組みを認知・理解していただければと思います。

五洋建設株式会社

受け入れ実績 28年目 実施日 8/18(木)～8/19(金) 参加教員数 7名（東京都町田市教育委員会）

主なプログラム

- 1日目**
- 1 土木部門
 - 土木とは
 - 土木の工事
 - 土木の技術
 - 2 人事部
 - 人事評価制度
 - 人材育成
 - メンタルヘルス・ケアの取り組み
 - 3 建設現場見学
- 2日目**
- 1 建築部門
 - 建築業界と用途地域
 - 省エネへの取り組み
 - 建物ができるまで
 - 2 ミャンマー建築奮戦記
 - 3 建築施工現場の紹介
 - 4 建設現場見学

クローズアップ

建設現場の見学

- 施工中の建設現場を見学して建設業の魅力を感じる
- 建設現場のダイナミックさを感じる
- 品質・安全管理の取り組み

稼働している工事現場の見学や体験を通して、社会基盤を支える建設業の使命・役割などの理解を深め、次世代を担う子どもたちに建設業の魅力を伝えていただければと思います。

三機工業株式会社

受け入れ実績 2年目 実施日 7/25(月)～7/27(水)

参加教員数 5名 (東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 最新の働く現場提供（コンサル）の現状
- 3 サステナビリティの取り組み
- 4 人材教育・研修のコンセプト紹介
- 5 振り返り

2日目

- 1 企業の変遷紹介
- 2 三機テクノプラザの見学と設立の主旨
- 3 技術・技能研修エリア見学・体感
- 4 オンライン研修方法見学
- 5 安全体感エリア見学
- 6 安全の教育技法
- 7 振り返り

3日目

- 1 R&Dセンター見学
- 2 大和プロダクトセンター見学
- 3 グループディスカッション
- 4 振り返り

クローズアップ

三機テクノセンターの紹介

- 安全体験・体感プログラム
- 技術・技能研修エリア見学プログラム
- 教育技法講話プログラム

当社の社員の安全教育や技術・技能教育では、昔ながらの視覚や感覚による教育技法とVRなどを用いた最先端教育技法の両方を行っています。また、当社の教育技法の講話では学校教育との共通点を感じていただけたと思います。

清水建設株式会社

受け入れ実績 10年目 実施日 7/25(月)～7/27(水)

参加教員数 10名 (東京都江戸川区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 建設業界と清水建設
- 2 清水建設の歴史
- 3 SDGs達成に向けた取り組み
- 4 ものづくり研修センター見学
- 5 木工場見学

2日目

- 1 建設現場見学
- 2 ダイバーシティ推進
- 3 清水建設のプロジェクト
- 4 環境ビジョンと生物多様性への取り組み

3日目

- 1 豊洲スマートシティ見学
- 2 シミズ・ドリーム
- 3 技術研究所オンライン見学
- 4 社員との意見交換
- 5 振り返り

クローズアップ

シミズのまちづくり(豊洲スマートシティ見学)

- 健康・快適なオフィスの見学
- 最先端のDXを導入したオフィスの見学

当社が手掛けるスマートシティを実際に見学してもらい、未来のまちづくりについて学習してもらいました。

一般社団法人情報サービス産業協会

受け入れ実績 10年目 実施日 8/18(木)～8/19(金) 参加教員数 7名 (東京都東村山市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 暮らしや社会における情報システムの役割
- 2 情報システム構築の仕事とITエンジニアの役割
- 3 働き方改革への取り組み
- 4 意見交換
- 5 サステナビリティへの取り組み
- 6 従業員のモチベーション向上や多様な働き方
- 7 職場見学

2日目

- 1 産業分野におけるDX
- 2 公共分野におけるDX
- 3 意見交換
- 4 情報化教育の取り組み
- 5 プログラミング体験授業
 - Scratch
 - K3Tunnel
- 6 意見交換・振り返り

クローズアップ

事例と体験で学ぶ情報サービス産業

- 情報サービス企業のサステナビリティへの取り組み
- 情報サービス企業のDXへの取り組み
- 子ども向けプログラミング体験授業

情報サービス産業はいかにして社会を支え変革しているのか、また当産業で働く社員の働き方、子どもたちが楽しくプログラミングを学ぶ方法について、事例紹介と体験学習により理解していただければと思います。

一般社団法人信託協会

受け入れ実績 15年目 実施日 ①8/16(火)～8/17(水)、②8/22(月)～8/23(火) 参加教員数 7名 (①東京都葛飾区教育委員会、②東京都品川区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 信託協会概要
- 2 信託の歴史と仕組み
- 3 「信託博物館」見学
- 4 信託銀行見学
- 5 ライフプランと信託

2日目

- 1 金融経済教育を巡る環境と授業における信託の展開
- 2 グループワーク①
 - 授業プラン検討
- 3 「貨幣博物館」見学
- 4 グループワーク②
 - 授業プラン作成・発表
- 5 振り返り

クローズアップ

信託の仕組みや特徴、人々の暮らしや社会の中での活用方法

- 信託の仕組み・特色と機能、活用事例
- 授業への信託の展開と授業プラン作成・発表
- 現場研修・見学

最近利用されている信託商品の説明や信託銀行などの見学を通して、信託への理解を深め、協会からの提案も参考に、「信託の観念」を教育へどう活用するかを考える機会になればと思います。

住友重機械工業株式会社

受け入れ実績 3年目 実施日 8/3(水)～8/4(木) 参加教員数 10名(神奈川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 技術本部技術研究所見学
- 3 製造現場の見学
 - 精密鍛造品製造工程(ジェットエンジンブレードなど)
- 4 レンガドック、「住友重機械造船資料館」(浦賀工場)見学

2日目

- 1 製造現場の見学
 - 造船工程(オイルタンカーの製造)
- 2 製造所共管部門の見学・業務説明
 - 安全衛生グループ
 - 総務/施設グループ
 - 人事グループ
 - 環境グループ
 - 情報システム部
- 3 意見交換・振り返り

クローズアップ

製造業の共管部門業務と意見交換

- 製造業における共管部門業務
- 共管部門業務の中で、学校でも活用が望まれる良かった点を意見交換する

企業活動から得た情報を、意見交換を行いながら自身の学校に取り入れたい情報を共有し、自身の学校と他校との違いを比較し、より良い学校づくりのヒントを得てもらえればと思います。

一般社団法人生命保険協会

受け入れ実績 12年目 実施日 8/10(水) 参加教員数 7名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 生命保険協会概要
- 2 生命保険の基礎知識
- 3 授業実践勉強会
- 4 金融教育教材「ライフサイクルゲーム」
- 5 金融リテラシー向上(アニメ動画視聴)
- 6 生命保険相談所
- 7 振り返り

クローズアップ

金融教育教材「ライフサイクルゲーム」

- 人生におけるリスクと備え、必要な知識

人生の様々なリスクとそれらに対する備え、消費者として知っておくべき消費者被害とその対策や社会保障制度の重要性についてゲーム形式で学んでいただきます。

株式会社セレスポ

受け入れ実績 3年目 実施日 8/17(水)～8/19(金)
田市教育委員会)

参加教員数 35名 (東京都中野区教育委員会、東京都町

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、イベント業界、事業紹介
- 2 座談会
- 3 CSR活動紹介

2日目

- 1 ワークショップ①
 - チームビルディング
- 2 ユニバーサル体験
- 3 ユニバーサルゲーム作り、発表
- 4 振り返り

3日目

- 1 ワークショップ②
 - アイデアの磨き方
- 2 ワークショップ③
 - イベント企画
- 3 振り返り

クローズアップ

ユニバーサル体験を通して、新たなアイデアの企画・発表

- ユニバーサル体験 (車いす、視覚障がいなど)
- 新たなアイデアの企画・発表

ユニバーサル体験を通して、そこから得た気づきなどを基に新たなユニバーサルな遊びのアイデアを考えていただき、ユニバーサルやサステナブルについての理解を深め、今後の学校教育の場にもつながるヒントになればと思います。

一般社団法人全国農業協同組合中央会

受け入れ実績 1年目 実施日 ①7/27(水)～7/28(木)、②8/1(月)～8/2(火)
立区教育委員会、②東京都品川区教育委員会)

参加教員数 18名 (①東京都足

主なプログラム

1日目

- 1 JAグループの概要
- 2 第29回JA全国大会決議の実践
- 3 SDGsの取り組み
- 4 社会課題への取り組み
- 5 人材育成の取り組み
- 6 若手職員との意見交換
- 7 振り返り

2日目

- 1 JA邑楽館林、JAなめがたしおさい現地研修、「らぼっぼ なめがたファーマーズヴィレッジ」見学
 - 集出荷施設見学
 - 生産者との意見交換
- 2 振り返り

クローズアップ

JA邑楽館林、JAなめがたしおさい現地研修

- 地域に密着するJA
- 農畜産物の生産・流通過程
- 生産現場のリアル

身近な「食卓」の舞台裏にいる生産者、日本農業の実態や課題、農畜産物の生産現場から流通過程におけるJAの役割などを伝え、豊かな食と農を未来につなぐために今からできることを、教育現場の皆さんと一緒に考えていきます。

双日株式会社

受け入れ実績 13年目 実施日 8/5(金) 参加教員数 10名(東京都教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 国内事業例
- 3 海外事業例
- 4 物流の基礎知識
- 5 キャリア構築について意見交換
- 6 振り返り

クローズアップ

キャリア構築について意見交換

- 研修プログラムから学校でのキャリア教育につながるテーマや学びを共有
- 学校教育で求められる人材育成と企業の人材育成との相違点
- キャリア構築全般について意見交換

学校と企業が広く連携し、子どもたちの将来を支える一助となるよう、プログラムに取り入れました。企業における人材育成、双日の企業理念・行動指針などから、学校で活用できる内容を共有し、次世代を担う子どもたちのキャリア教育につながるよう意見交換を進めました。

SOMPOホールディングス株式会社

受け入れ実績 16年目 実施日 8/12(金) 参加教員数 20名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社・グループ概要
- 2 損害保険の基礎知識
- 3 サステナビリティへの取り組み
 - 子ども向け防災プログラムの体感
- 4 人材育成
- 5 DX推進
- 6 「SOMPO美術館」見学

クローズアップ

SOMPOの未来を創る人材育成

- SOMPOグループの目指す姿・経営戦略
- 人材育成の取り組み(バーパス、1 on 1、若手の人材育成、企業内大学)
- ダイバーシティ&インクルージョン

SOMPOグループの人材育成への理解を深めていただき、教育現場における人材育成と相対化し、その気付きを基に、次世代のリーダーを担う教員の今後のより良い学校運営の参考にしていただければと思います。

第一生命保険株式会社

受け入れ実績 10年目 実施日 ①7/29(金)、②8/8(月) 参加教員数 17名 (①東京都教育委員会、②東京都港区教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 生命保険の社会的意義
- 3 社内施設見学
- 4 社会貢献活動
- 5 SDGsの取り組み
- 6 スポーツ振興事業
- 7 広告宣伝活動
- 8 金融・消費者教育①
 - 金融教育教材体験
- 9 金融・消費者教育②
 - 生涯設計プランニング体験
- 10 振り返り

クロズアップ

ライフサイクルゲームⅢ

- 消費者・金融保険教育を目的としたすごろく式ゲーム
- 教育現場での活用方法の紹介

人生のライフイベントやリスク、消費者被害事例をゲームで疑似体験していただきました。お金の大切さや将来に備えることの重要性、消費者被害から身を守る方法を子どもたちに伝えていただきたいと思います。

株式会社大和証券グループ本社

受け入れ実績 21年目 実施日 8/18(木)～8/19(金) 参加教員数 12名 (東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

- 1日目**
- 1 会社概要
 - 2 ライフプランニング
 - 3 商品基礎知識 (株式・為替・債券・投資信託)
 - 4 SDGs債・SDGs関連ファンド
 - 5 応援定期預金・外貨預金
 - 6 意見交換・振り返り
- 2日目**
- 1 証券営業
 - 2 CONNECT (アプリ証券会社) の取り組み
 - 3 人材育成・教育制度
 - 4 ダイバーシティ&インクルージョン
 - 5 SDGsの取り組み
 - 6 金融経済教育
 - 7 株式についての授業体験
 - 8 振り返り

クロズアップ

デジタル教材「『株式』について学ぼう」を体験

- デジタル教材「『株式』について学ぼう」の紹介
- 外部講師による模擬授業の実施

金融経済教育について進め方が分からない、授業の準備が十分にできないという意見が多いため、大和証券グループの教材を使った模擬授業を通じて、学校現場での金融経済教育やキャリア教育に活用していただければと思います。

大和ハウス工業株式会社

受け入れ実績 11年目 実施日 8/22(月)～8/24(水) 参加教員数 3名 (大阪府高槻市教育委員会、奈良県私立中学高等学校連合会)

主なプログラム

1日目

- 1 沿革と事業内容
- 2 CSの考え方と取り組み
- 3 リスクマネジメント
- 4 環境への取り組み
- 5 ビジネスマナー

2日目

- 1 総合技術研究所、「石橋信夫記念館」見学
- 2 「D-roomプラザ館」見学
- 3 みらい価値共創センター施設紹介

3日目

- 1 教育体系・新入社員教育
- 2 企業活動・人権問題への取り組み
- 3 ダイバーシティ推進の取り組み
- 4 社員との意見交換
- 5 振り返り

クロースアップ

社員との意見交換

- 「今後どのような人財を育成したいか」「今の中高生に将来どのような人財になってほしいか」「実現するためにはどのような関わり方が良いか」のテーマで社員と意見交換

学校現場と企業、どちらにおいても重要である上記3つのテーマに沿って、異なる立場から議論をし、お互いに学びや発見を得ることができました。

株式会社竹中工務店

受け入れ実績 9年目 実施日 8/3(水)～8/5(金) 参加教員数 16名 (大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要・企業理念
- 2 建築施工の基礎
- 3 研修施設見学と社員研修プログラム概要
- 4 CSR・環境への取り組み

2日目

- 1 小・中学校向け出前授業「なにわ出前塾・感じる構造」体験
- 2 「竹中歴史資料展示室」
- 3 作業所での「建築施工」の取り組み

3日目

- 1 「竹中大工道具館」見学
- 2 振り返り

クロースアップ

建築への理解向上と社会貢献を目指す企業活動

- 建築会社としての企業活動・人材育成
- 将来を見据えたまちづくりへの貢献
- ステークホルダーとのコミュニケーションの重要性

事業を継続するための想いや活動、人材育成の取り組みを知ってもらい、ステークホルダーとの関わり方や、将来を見据えたまちづくりへの取り組みを知ること、教育との共通点を見出し活用してもらいたいと思います。

TIS株式会社

受け入れ実績 12年目 実施日 8/2(火)～8/4(木)
 区教育委員会)

参加教員数 14名 (東京都足立区教育委員会、東京都文京

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 IT業界概要
- 3 人事制度

2日目

- 1 DX時代におけるプロジェクトマネジメント～教育現場への適用～

3日目

- 1 アイデア発散ワークショップ
- 2 振り返り

クローズアップ

DX時代におけるプロジェクトマネジメント～教育現場への運用～

- プロジェクトマネジメント
- スケジュールマネジメント
- リスクマネジメント
- ステークホルダーマネジメント
- ワークショップ

運動会や修学旅行などの教育現場での活用をイメージし、目的と期限を決めて取り組む活動である「プロジェクト」を管理する手法を学び、実際に手を動かしていただくワークショップも開催しました。

一般社団法人電子情報技術産業協会

受け入れ実績 3年目 実施日 8/22(月)～8/23(火)
 野市教育委員会、東京都私学財団)

参加教員数 24名 (東京都中央区教育委員会、東京都日

主なプログラム

1日目

- 1 協会概要紹介
- 2 グループディスカッション
- 3 科学体験施設「Mulabo!」の紹介
- 4 ITエレクトロニクス製品の仕組み
- 5 電気実験 (基本実験)

2日目

- 1 スマートフォン通信の仕組み
- 2 電気実験 (考察実験)
- 3 プログラミング研修ソフト「アルゴロジック」体験
- 4 各社が描く未来像について
- 5 グループディスカッション
- 6 振り返り

クローズアップ

グループディスカッション

- 「20年後の未来」をグループごとに考え、「想像できる未来像」として可能性が高いものと低いものを抽出し、シナリオを検討
- 研修で感じたことや学んだことを踏まえ、加筆修正したシナリオについてグループディスカッション

自分ごととして感じている未来と企業が取り組んでいる未来についての違いや、世の中の変化なども感じ取ってもらえるプログラムを準備しました。

一般財団法人電力中央研究所

受け入れ実績 19年目 実施日 ①8/17(水)、②8/18(木) 参加教員数 27名 (①東京都町田市教育委員会、②東京都日野市教育委員会)

主なプログラム

- 1 研究所概要
- 2 レクチャー
 - ドラマチック電力
- 3 研究設備見学
- 4 レクチャーおよび電気の実験・工作
 - エネルギー資源や環境に関する効果的な指導方法と教材開発
- 5 振り返り

クロースアップ

エネルギー資源や環境に関する効果的な指導方法と教材開発

- 電気を作る
- エネルギーの利用と生じる問題
- 電気の使われ方

エネルギーや環境についてのレクチャーや、電気の実験・工作などを体験することで理解を深め、子どもたちに興味をもってもらえるような魅力的な授業づくりのヒントになればと思います。

東京海上日動火災保険株式会社

受け入れ実績 12年目 実施日 8/4(木) 参加教員数 9名 (千葉県松戸市教育委員会)

主なプログラム

- 1 東京海上ビジネスサポート社見学 (障がい者雇用促進のための特例子会社)
- 2 DXの取り組み
- 3 人材育成、コミュニケーション演習
- 4 サステナビリティ・SDGs活動

クロースアップ

東京海上ビジネスサポート社見学

- 東京海上グループの障がい者雇用の取り組み
- チャレンジサポーター (障がいをもった社員)の業務内容
- 職場見学

多様な人材が生き活きと活躍できる社会づくりやダイバーシティ&インクルージョンの取り組み意義について、見学を通じて感じたことを、教育の場で活かしていただければと思います。

東京ガスネットワーク株式会社

受け入れ実績 1年目 実施日 ①7/27(水)～28(木)、②8/1(月)～8/2(火)、③8/16(火)～8/17(水)、④8/23(火)～8/24(水) 参加教員数 108名(①東京都杉並区、文京区の各教育委員会、東京都私学財団、②東京都新宿区教育委員会、北区、千葉県松戸市教育委員会、③東京都荒川区、葛飾区、練馬区の各教育委員会、④東京都大田区、三鷹市の各教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 都市ガスが家に届くまで
- 2 SDGsへの取り組み
- 3 お客さまセンター業務紹介
- 4 エネルギーの課題とこれからのエネルギー

2日目

- 1 扇島工場（リモート講義）
- 2 ガスの歴史（リモート講義）
- 3 「がすてなーに ガスの科学館」見学
- 4 学校教育支援活動
- 5 グループワーク

クローズアップ

授業プラングループワーク「エネルギー環境教育のカリキュラムマネジメント」

- 授業づくりのための個人ワーク
- グループワーク（情報共有およびグループを代表する授業プランの作成）
- 学校教育情報センター所長による講評

本研修で学んだ内容を振り返り、学校教育へ組み込むための方法を自ら考え、各学年・教科を同じにする教員同士で議論をする中で、より良い授業プランを創出していただくことを目的としました。

東レ株式会社

受け入れ実績 27年目 実施日 8/2(火)～8/4(木) 参加教員数 8名（静岡県教育委員会）

主なプログラム

1日目

- 1 三島工場概況
- 2 地域社会との関わり
- 3 労務管理施策
- 4 経営と人材育成

2日目

- 1 安全・衛生・防災・環境への取り組み
- 2 製造現場における危険予知訓練
- 3 水資源保全活動の紹介
- 4 危険体感マシニング教育
- 5 繊維・フィルム生産設備見学
- 6 企業文化フロア見学
- 7 社員との懇談

3日目

- 1 医薬・繊維の研究・技術開発
- 2 振り返り

クローズアップ

製造業が求める人材の育成

- 製造業として求める人材像
- 民間企業が求める「社会人の基礎」への理解
- 労働安全や社会貢献に対する会社や社員の意識

事前研修会でお聞きした教員の希望からテーマを設定し、講師の社員は会社方針に自身の思いも含め講義しました。講師との意見交換で教員が得た気づきを、学校教育の現場に活かしていただければと思います。

戸田建設株式会社

受け入れ実績 8年目 実施日 8/4(木)～8/5(金)

参加教員数 10名 (千葉県松戸市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 建設現場見学
- 2 建設業と会社概要
- 3 中学生受け入れ時のプログラム

2日目

- 1 人財育成の取り組み
- 2 環境への取り組み
- 3 つくば技術研究所見学

クローズアップ

建設現場・技術研究所の見学

- 建設現場見学・次世代革新技術への取り組み
- 技術研究所見学・環境への取り組み、最先端技術体験
- 体験を通じ、建設業について理解を深める

施工中の建設現場を実際に見学していただき、建設業の魅力を子どもたちに伝えていただければと思います。また技術研究所で実際に体験したことが、学校教育の現場に少しでも参考になればと思います。

中日本高速道路株式会社

受け入れ実績 13年目 実施日 8/4(木)～8/5(金)

参加教員数 20名 (東京都足立区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 高速道路交通安全セミナー
- 3 「コミュニケーション・プラザ川崎」見学
- 4 リニューアル工事現場見学
- 5 高速道路建設現場見学

2日目

- 1 交通管理隊研修
- 2 海老名サービスエリア見学
- 3 グループディスカッション

クローズアップ

交通管理隊研修

- 交通管理隊の業務紹介
- 発炎筒・旗振り訓練
- 交通規制の実演見学

高速道路の最前線におけるNEXCO中日本グループの働き方を見て、一緒に体験いただくことで、安全への意識や取り組みを知っていただき、学校での取り組みにも参考にさせていただければと思います。

西日本旅客鉄道株式会社

受け入れ実績 28年目 実施日 8/3(水) 参加教員数 5名(京都市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 安全の取り組み
 - 鉄道の安全対策(ホーム、踏切)など
- 3 鉄道とSDGs
 - 教育の場としての京都鉄道博物館の紹介
 - 展示を活用したSDGs学習プログラムの体験
- 4 京都駅の概要説明
- 5 接客の基本と身だしなみ
- 6 駅業務見学・体験
- 7 振り返り・意見交換

クローズアップ

京都駅での駅業務見学・体験

- 改札業務
- 出札(切符発券)業務
- 駅構内放送業務

当社の事業について理解を深めていただくだけでなく、実際に駅係員の制服を着用し、お客さまの対応を含め、業務を体験することで、「すべての仕事はお客さまにつながっている」ことの大切さややりがい、身だしなみの重要性などを感じていただく構成としました。

株式会社日清製粉グループ本社

受け入れ実績 4年目 実施日 8/19(金) 参加教員数 9名(東京都品川区教育委員会)

主なプログラム

- 1 グループ概要
- 2 映像視聴「企業歴史編」
 - 「製粉ラボ教室」体験
- 3 「製粉ミュージアム」見学
- 4 グループワーク
- 5 振り返り

クローズアップ

グループワーク課題 紙芝居「正田貞一郎」を上演

- 社是、経営哲学について理解を深める
- 「何を感じ」「何に重きを置いたのか」を知ることでお互いを知る

紙芝居の各絵で伝えたい情報を、施設内にある展示物や資料から探し出すことで、創業者「正田貞一郎」の公益性を重視した仕事への取り組みや、社是「信を万事の本と為す」を理解いただければと思います。

ニッセイアセットマネジメント株式会社

受け入れ実績 13年目 実施日 8/8(月)～8/10(水) 参加教員数 10名(東京都品川区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、経営戦略
- 2 資産運用の基礎
- 3 投資信託部門
- 4 運用環境
- 5 運用部門
- 6 ESG運用

2日目

- 1 サステナビリティ経営
- 2 学校法人とアセットマネジメント会社
- 3 法人・機関投資家営業部
- 4 オフィスツアー(運用部門)
- 5 DC関連
- 6 代表取締役社長との意見交換

3日目

- 1 投資信託の仕組み
- 2 人材育成
- 3 法務コンプライアンス
- 4 SDGsの金融教育「SDGs人生ゲーム」
- 5 振り返り・意見交換

クローズアップ

SDGsの金融教育について

- SDGs、金融の基礎知識の習得
- SDGsの理念を理解しながら、協働でゴールを目指す

学校教育において、SDGsや金融の基礎知識を人生ゲームを通じて学んでいただき、ゲーム感覚で子どもたちに楽しんでもらうため、教員の方々に先行的に体験いただきました。

日本アムウェイ合同会社

受け入れ実績 9年目 実施日 7/26(火)～7/28(木) 参加教員数 5名(東京都小平市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 社会が求める人材
 - グループディスカッション
- 3 オフィスツアー
 - 危機管理、防災の取り組み
- 4 働き方改革、人事制度、創業者の理念
- 5 女性活躍支援ネットワークの取り組み

2日目

- 1 体力・学力を伸ばす食事術
 - 体組成計測定
- 2 各製品ブランドと製品開発
- 3 「アムウェイ・プラザ」見学
 - 運営とお客さま対応

3日目

- 1 CSR活動
- 2 カスタマーセンターにおけるお客さま対応
- 3 サステナビリティ
- 4 多様性とインクルージョンの取り組み
- 5 政府渉外活動の紹介
- 6 振り返り

クローズアップ

社会が求める人材とは

- 人は大人になっても変われるか
- 不確実・不透明な社会の中、自分で考え解決する思考力と行動力をいかに養うか
- グローバルにリーダーシップを発揮できる人材の育成とは

ヘルス&ウェルネスを主軸とした様々な企業活動や製品づくりへの思い、変化し続ける不確実な時代に求められる多様なリーダーシップなど、学校教育のみならず、社会づくりに共通する価値をテーマに構成しました。

日本証券業協会

受け入れ実績 16年目 実施日 8/16(火) 参加教員数 29名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 株式会社制度と証券市場の役割
- 2 日本証券業協会の役割と人材育成
- 3 日本証券業協会の金融・証券教育普及活動
- 4 人生100年時代のライフプランと資産形成
- 5 ワークショップ (Web教材)
 - 「とうしくんとタイムトラベル！」
- 6 証券業界とSDGs
- 7 ワークショップ (体験型教材)
 - 「チャレンジ!おかしの株式会社」

クローズアップ

Web教材「とうしくんとタイムトラベル！」

- 各金融商品の特徴を知る
- 資産形成を体験する
- 資産形成における長期・積立・分散の効果を理解する

高校の新科目「公共」や「家庭基礎」「家庭総合」の新たな学習内容である“資産形成”を疑似体験することで、金融商品のリスクとリターンの関係や長期・積立・分散投資の効果の理解を深め、今後の指導や教員自身の資産形成の参考にさせていただくことを目的としています。

日本製鉄株式会社

受け入れ実績 25年目 実施日 ①7/27(水)~7/28(木)、②8/3(水)~8/4(木)、③8/8(月)~8/9(火)、④8/17(水)
参加教員数 33名 (①③石川県教育委員会、②東京都杉並区教育委員会、④千葉県木更津市教育委員会、千葉県君津市教育委員会)

主なプログラム

- 1 日目
 - 1 会社概要
 - 2 人材育成
 - 3 環境への取り組み
 - 4 工場見学
- 2 日目
 - 1 実習型教育
 - 2 工場見学
 - 3 安全研修 (危険体感研修)
 - 4 意見交換

クローズアップ

安全研修 (危険体感研修)

- 社員・協力会社社員の安全意識向上を図る
- 「どういう状況で何がどうなったら危険なのか」をあらかじめ理解し、VRや専用機器などを使用して一部体感する

安全最優先の方針を理解いただくとともに、社員の安全に対する意識向上・感度向上のために行っている研修の一部を実際に体験いただき、子どもたちの安全を守るため、教育現場でも活用いただければと思います。

※①③関西製鉄所尼崎・製鋼所地区および瀬戸内製鉄所広畑・阪神地区、②東日本製鉄所鹿島地区、④同君津地区で開催。開催場所により若干プログラムが異なります。

一般社団法人日本損害保険協会

受け入れ実績 10年目 実施日 8/22(月) 参加教員数 43名(東京都教育委員会、東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

- 1 損害保険業界の概要
- 2 保険の仕組み・損害保険の役割
- 3 アクティブラーニング授業体験
- 4 安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」
- 5 ハザードマップの重要性と活用方法
- 6 振り返り

クローズアップ

損害保険リテラシー授業を体験

- アクティブラーニング形式の授業を体験
- 自転車事故や自動車事故を取り巻くリスクを確認
- リスクへの備えとなる損害保険に関する知識を身に付ける

損害保険に関心をもつことはリスクに対する意識を高め、安心安全な生活を送ることにつながります。教材「明るい未来へTRY!」を使った授業を体験していただき、学校現場で展開いただくことを期待しています。

日本郵船株式会社

受け入れ実績 26年目 実施日 8/22(月)～8/23(火) 参加教員数 8名(東京都品川区教育委員会)

主なプログラム

- 1 日目
 - 1 会社概要
 - 2 人事制度
 - 3 環境対策
 - 4 操船シミュレータ見学
- 2 日目
 - 1 「日本郵船氷川丸」見学
 - 2 「日本郵船歴史博物館」見学

クローズアップ

操船シミュレータ見学

- BRM (Bridge Resource Management) の考えによる組織づくりの説明
- 操船シミュレータを用いての各役割、指示の出し方の説明
- 操船体験を通じて船員業務の理解を深める

船上での組織づくりを紹介することで、人間関係や良好な雰囲気を作り出すことが事故・ニアミスを防ぐことと知っていただき、そこから得られたヒントを学校教育への参考にいただければと思います。

野村ホールディングス株式会社

受け入れ実績 22年目 実施日 8/22(月)～8/24(水) 参加教員数 20名 (東京都品川区教育委員会、東京都武蔵野市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 経済・金融・投資の基礎知識
- 2 トレーディングフロア見学
- 3 子どもたちにイノベーション思考の背中を押すためのヒント
- 4 金融・経済教育の取り組み
- 5 障がい者スポーツ「ボッチャ」体験

2日目

- 1 ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み
- 2 企業とSDGs
- 3 資産形成の必要性和積立投資体験
- 4 知っておきたい!人生100年時代のライフプランとマネープラン
- 5 意見交換

3日目

- 1 グローバル化する世界 日本の輝く未来と今求められる人材
- 2 東証アローズ見学
- 3 金融・経済教育プログラム体験
 - Nomuraビジネス・チャレンジ
- 4 振り返り

クローズアップ

金融・経済教育プログラム体験 「Nomuraビジネス・チャレンジ」

- 中高生向け出張授業プログラムの体験
- グループごとに決められたテーマについて、課題や問題点を話し合う
- 課題に対する解決方法を考え、発表

授業プログラムの体験を通じて、教員同士が交流を深める場になればと思い企画しました。各学校における問題意識を共有し、一緒に解決へのアイデアを探ることで得られたヒントを、教育現場で役立てていただければと思います。

株式会社長谷工コーポレーション

受け入れ実績 2年目 実施日 8/23(火) 参加教員数 16名 (東京都教育委員会、東京都東村山市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要、マンション業界
- 2 ライフマネージャー研修体験
- 3 「長谷工マンションミュージアム」見学
- 4 長谷工技術研究所見学
- 5 演習
 - 生物多様性の取り組み
 - アイデア発表

クローズアップ

長谷工テクニカルセンター見学、 マンション管理員体験

- 長谷工マンションミュージアム見学
- 長谷工グループ技術研修センターにてマンション管理員体験
- 長谷工技術研究所見学

マンションの歴史や技術の変遷、未来住宅への取り組みなどの展示を通して、業界のアウトラインを伝えるとともに、長谷工で日々行われている研究・技術開発や研修の実態と意義を理解していただければと思います。

日立造船株式会社

受け入れ実績 1年目 実施日 7/26(火)～7/28(木)

参加教員数 7名 (大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 教育制度
- 3 ブランド推進の取り組み
- 4 舞洲焼却工場見学

2日目

- 1 ダイバーシティの取り組み
- 2 技能研修所の活動紹介
- 3 築港工場見学 (Power to Gas関連設備)
- 4 サステナビリティの取り組み

3日目

- 1 DXの取り組み
- 2 Hitz先端情報技術センター見学
- 3 コンプライアンスの取り組み
- 4 教育のあり方について意見交換

クローズアップ

教育のあり方について

- 教育現場と企業の「教育」の違い
- 学習方法の多様化
- 子どもたち・職員のキャリアパス

学校の教育活動と企業の人材育成についての意見交換により、問題意識や奮闘努力の様子を共有することで得られた新たな気づきを、子どもたちが夢をもつことのできる、豊かな社会づくりに活かしていきたいと思っています。

古河電気工業株式会社

受け入れ実績 7年目 実施日 7/27(水)～7/29(金)

参加教員数 9名 (神奈川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社紹介、ESG経営
- 2 安全への取り組み
- 3 先端技術紹介「光ファイバー」
- 4 環境への取り組み

2日目

- 1 安全道場見学・体験
- 2 工場見学
- 3 古河ニューリーフ (特例子会社) 見学

3日目

- 1 ダイバーシティ&インクルージョン推進の取り組み、リーダー育成のためのワーク実践
- 2 本社コンセプト説明、本社・防災用品見学
- 3 社員教育概要・体験
- 4 振り返り

クローズアップ

安全・環境・特別支援雇用に関する工場見学・実習

- 安全・環境・地域貢献の活動紹介
- 安全について体験で学べる安全道場実習と工場見学
- 障がい者雇用に関する活動見学

環境・安全への取り組みなどが、事業所活動ではどのように実践されているのか、また、特別な支援を必要とする人が当社でどのような活躍をしているのかを体感していただきます。

丸紅株式会社

受け入れ実績 24年目 実施日 8/18(木)～8/19(金) 参加教員数 26名 (東京都葛飾区教育委員会、東京都杉並区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 人材育成、働き方
- 3 サステナビリティの取り組み
- 4 営業本部事業紹介 (金属)
- 5 丸紅情報システム見学

2日目

- 1 丸紅ソフトウェア事業紹介
- 2 営業本部事業紹介 (次世代事業開発)
- 3 DXの取り組み
- 4 オフィス見学
- 5 情報のインプット・アウトプット
- 6 振り返り・意見交換

クロズアップ

グループ企業訪問・事業紹介

- 3Dプリンター・3Dスキャナーの見学、活用事例
- 消費者向け事業
- 現場における人材育成施策

グループ企業の現場や消費者向け事業についても知っていただくことで、多岐にわたる総合社のビジネスへの理解を深めていただくとともに、身近に感じていただければと思います。

みずほ証券株式会社

受け入れ実績 9年目 実施日 ①7/27(水)～7/29(金)、②8/2(火)、③8/5(金) 参加教員数 59名 (①神奈川県教育委員会、②③東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 人生100年時代とは
(ライフ・キャリアデザイン、お金)
- 2 人生100年時代、何が必要？
- 3 これからの時代と教育
～学校で資産形成を学ぶ？～

2日目

- 1 高校生向け金融経済教育プログラム体験①
 - お金との付き合い方A
(キャリア教育×金融教育)
 - お金との付き合い方B
(消費者教育×金融教育)
- 2 高校生向け金融経済教育プログラム体験②
 - 企業、投資家双方の立場を体験
(起業家教育×金融教育)
- 3 「貨幣博物館」見学

3日目

- 1 金融・証券会社の役割
- 2 各種取り組み (CX・人材育成)
- 3 社員との座談会 (民間企業の事例～働き方・キャリア形成・環境変化への対応等)

クロズアップ

学校現場における金融経済教育

- 人生100年時代、子どもたちにとって必要な金融教育とは
- 体験型学習「お菓子の株式会社」
(企業、投資家双方の立場を体験)
- 社員との意見交換

金融や経済を身近に感じていただくための講義や体験型学習、ディスカッションを通じて教育現場での金融経済教育の必要性や、その普及に向けて相互理解を深めることを目的としています。

三井化学株式会社

受け入れ実績 15年目 実施日 8/19(金)、8/22(月) 参加教員数 9名 (千葉県松戸市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 ESG経営
- 3 レスポンシブル・ケア活動
- 4 品質管理
- 5 人材育成
- 6 社会活動

2日目

- 1 三井化学技術研修センター
 - 見学
 - 体験研修
 - 人材育成・教育についての意見交換

クローズアップ

技術研修センターにおける安全教育、技術訓練

- 過去の教訓を伝える
- 安全研修体験（挟まれ、破裂、墜落、落下、転倒など）
- 安全研修を通じた人材育成についての意見交換

安全なモノづくりを担う人材育成の現場で、過去の体験を活かした教育を理解し、人材育成や教育について考えを深め、日頃感じている課題の参考にしていただければと思います。

三井物産株式会社

受け入れ実績 16年目 実施日 7/25(月)～7/27(水) 参加教員数 16名 (東京都文京区教育委員会、東京都港区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、広報の取り組み
- 2 三井物産のESGに関する取り組み
- 3 三井物産の人材育成

2日目

- 1 本店オフィスの紹介・見学
- 2 障がい者雇用の取り組み
- 3 「サス学(サステナビリティ学)アカデミー」の取り組み
- 4 現在の国際情勢(エネルギー/食料問題など)

3日目

- 1 物流事業・最新物流ロボットの紹介
- 2 給食事業・大規模給食センターの取り組み
- 3 三井物産のDX人材育成
- 4 振り返り

クローズアップ

人材育成・活用、ESGの取り組みを通じた社会とのつながり

- 人材育成・活用
- ESGの取り組み、「サス学」アカデミー
- 新規事業の取り組み

企業が存続していくには絶え間ない進化と変革が求められます。三井物産の経営理念と事業活動を通じた社会とのつながり、その根幹をなす人材育成、新規事業分野への挑戦などが、学校教育や運営での課題解決の一助になればと思います。

三井不動産株式会社

受け入れ実績 10年目 実施日 8/19(金) 参加教員数 11名 (東京都教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 「ワークスタイリング (法人向けシェアオフィス)」見学
- 3 人材育成、キャリア教育、人事制度・施策
- 4 脱炭素の取り組み
- 5 日本橋スマートエネルギープロジェクト
- 6 日本橋再生計画の取り組み
- 7 「分身ロボットカフェ」見学
- 8 産業創造の取り組み

クローズアップ

人材育成・キャリア教育、人事制度・施策

- ダイバーシティ&インクルージョンを含む人事制度、多様なキャリアをもつ社員
- 採用・研修
- 質疑応答

働き方やライフスタイルの多様化に伴う、人材育成に対する考え方や、スキルアップを図る各種研修プログラム、意欲向上を図る人事制度を紹介し、多様な人材が活躍できる職場づくりについて考えます。

三菱地所株式会社

受け入れ実績 23年目 実施日 8/15(月)~8/17(水) 参加教員数 13名 (東京都小平市教育委員会、東京都練馬区教育委員会)

主なプログラム

- 1 日目
 - 1 グループ概要
 - 2 ブランドについて
 - 3 人事制度
 - 4 丸の内における「街づくり」
 - 5 グループワーク
- 2 日目
 - 1 危機管理 (防災対策)
 - 2 住宅事業
 - 3 「大手町ギャラリー」見学
 - 4 デジタルトランスフォーメーション
 - 5 常盤橋タワー、アナザー・ジャパン見学
 - 6 グループワーク
- 3 日目
 - 1 サステナビリティ・環境問題への取り組み
 - 2 意見交換・発表

クローズアップ

常盤橋タワー、アナザー・ジャパン店舗見学

- 新たに竣工した常盤橋タワー見学
- 大学生が自ら店舗運営を行うアナザー・ジャパンの店舗見学
- 質疑応答

最新のオフィスビルを見学することで、当社の取り組みをより深くご理解いただき、大学生が運営する店舗を見ていただくことで、「教育×不動産」の取り組みの一例を体感いただくことを意図しました。

三菱自動車工業株式会社

受け入れ実績 14年目 実施日 8/4(木)～8/5(金) 参加教員数 9名(東京都港区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 業界の現状と経営戦略
- 3 商品企画
- 4 ダイバーシティ活動の取り組み
- 5 子ども向け学習ツール
- 6 岡崎工場見学(リモート)
- 7 コンプライアンス
- 8 サステナビリティ推進活動
- 9 社会貢献活動

2日目

- 1 お客さまの声講座
- 2 電話対応の基礎
- 3 社員との意見交換
- 4 オフィス見学
- 5 ショールーム見学
- 6 10年経験社員との意見交換
- 7 振り返り

クローズアップ

商品企画

- 自動車会社の仕事
- 商品企画の仕事
- 商品企画を体験

将来を見越した商品企画の仕事について理解を深めていただき、次世代を担う子どもたちが将来について考え、視野を広げられるよう、中高生を対象に行っているキャリア教育学習を体験いただければと思います。

三菱商事株式会社

受け入れ実績 21年目 実施日 8/3(水)～8/5(金) 参加教員数 19名(神奈川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 人材開発施策
- 3 キャリア事例

2日目

- 1 三菱の挑戦と発展
- 2 コンプライアンス
- 3 サステナビリティ・CSR施策
- 4 パラアスリート高橋選手による講演・体験
- 5 絵本ボランティア

3日目

- 1 水素、スマートシティの取り組み
- 2 危機管理広報
- 3 グループディスカッション
- 4 コーポレート担当役員との意見交換

クローズアップ

コーポレート担当役員との意見交換

- テーマ) 教育・人材育成、組織のリーダーとして大切にしていること

教育のプロフェッショナルであり、教員をまとめる立場にある教頭先生と、教育現場、企業、それぞれの課題を共有する目的で実施しました。

三菱マテリアル株式会社

受け入れ実績 23年目 実施日 8/17(水)～8/18(木) 参加教員数 10名 (東京都練馬区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 事業概要
- 3 ESG・SDGs
- 4 環境・エネルギー事業
- 5 コンプライアンス・リスクマネジメント・危機管理
- 6 業務効率化
- 7 ものづくり革新ゼミ

2日目

- 1 ニューエナジーふじみ野見学
- 2 デジタルトランスフォーメーション
- 3 意見交換

クローズアップ

ニューエナジーふじみ野の見学

- 食品廃棄物のバイオガス化発電プラントの見学
- 社員との意見交換

処理後の残さも三菱マテリアルグループのセメント工場で資源化を行い、最終処分場に依存しないリサイクルを実現しています。講義と見学を通じて事業活動を実感し、学校教育の参考にしていただきます。

三菱UFJ国際投信株式会社

受け入れ実績 1年目 実施日 ①7/25(月)、②8/1(月) 参加教員数 28名 (東京都教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 資産運用の必要性と投資信託の基礎
 - グループディスカッション
- 3 ファンドマネジャーによる講演
- 4 つみたてNISA・iDeCo
 - グループディスカッション
- 5 SDGs・ESG
 - グループディスカッション
- 6 振り返り

クローズアップ

資産運用の必要性と投資信託の基礎

- 資産運用の必要性
- 資産運用のポイント
- 投資信託の活用

少子高齢化の進展や低金利環境が続く中、将来に向けた資産形成を通じて、将来の選択肢を広げることなどを目的とした資産運用の必要性を学んでいただきます。さらに、資産運用に活用可能な投資信託の基礎を理解いただきます。

三菱UFJニコス株式会社

受け入れ実績 19年目 実施日 8/17(水)～8/19(金) 参加教員数 10名(東京都大田区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 クレジットカードの基礎
- 2 フロア見学
- 3 クレジットの仕組み
- 4 行動規範・コンプライアンス
- 5 「カードギャラリー」見学
- 6 成年年齢引き下げについての意見交換
- 7 振り返り

2日目

- 1 経営ビジョン
- 2 人事制度・ダイバーシティ推進
- 3 人材育成の取り組み
- 4 不正使用対策
- 5 DXの取り組み
- 6 意見交換
- 7 振り返り

3日目

- 1 コールセンターの取り組み、見学(オンライン)
- 2 サイバーセキュリティの取り組み
- 3 CS・お客さま満足向上の取り組み
- 4 業界史
- 5 学習プランの作成
- 6 振り返り

クローズアップ

業界史

- 「後払い発祥」や「間接割賦販売制度(クレジットカード取引の原型)」などの業界史
- 創業からの歴史
- 半世紀以上前の現物資料を展示

創業当時の資料を手に取り、信用販売の歴史に触れていただくことで、クレジットカードの“社会的役割や存在意義”“時代の息吹”を感じていただき、子どもたちの金銭教育に活かしていただければと思います。

メタウォーター株式会社

受け入れ実績 4年目 実施日 8/18(木)～8/19(金) 参加教員数 20名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 私たちの暮らしと水循環
- 2 横浜市水道局 川井浄水場「セラロッカ」見学
- 3 メタウォーターのサステナビリティ
- 4 模擬出前授業
 - 水源涵養林実験、ろ過実験
 - 利き水

2日目

- 1 町田市の下水道について
- 2 町田市成瀬クリーンセンター見学
- 3 水循環を伝えるオリジナル授業づくり
- 4 振り返り

クローズアップ

オリジナル授業づくり

- グループディスカッション
- 水道、下水道関係者からのアドバイス
- 成果発表

「当たり前にある水」「その水の大切さ」について議論することで、抱える課題を共有し、解決策を考えます。それを基につくったオリジナル授業で、子どもたちに、これからも「当たり前にある水」、そんな素敵な社会を続けていく意識をもってもらいたければと思います。

ヤマト運輸株式会社

受け入れ実績 10年目 実施日 ①8/9(火)、②8/17(水) 参加教員数 20名 (①東京都練馬区教育委員会、②東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 「羽田クロノゲート」見学
- 3 理念研修、グループワーク
- 4 ベースでの仕分け作業体験
- 5 振り返り

クローズアップ

理念研修

- 長寿企業とは
- 「不易」と「流行」
- 「社訓」に込められた「想い」

100年以上続く長寿企業を支える7つの特徴から、「不易」＝「変わるべからざるもの」と「流行」＝「変わるべきもの」の意味や、経営理念に基づく「ブレない軸」の重要性を理解することで、学校の「教育目標」や教員を志望した「原点」を改めて考えるきっかけになればと思います。

雪印メグミルク株式会社

受け入れ実績 5年目 実施日 8/3(水)～8/5(金) 参加教員数 6名 (東京都武蔵野市教育委員会、東京都私学財団)

主なプログラム

- 1日目**
- 1 雪印メグミルクの紹介
 - 2 企業理念、過去の事件との対峙姿勢、サステナビリティ
 - 3 酪農（牛）への取り組み
 - 4 商品開発
 - 5 品質への取り組み
 - 6 振り返り

- 2日目**
- 1 DVD視聴「創業者たち」
 - 2 酪農と乳の歴史館
 - 3 食育授業紹介
 - 4 阿見工場見学（オンライン）
 - 5 お客様センター紹介
 - 6 振り返り

- 3日目**
- 1 海老名工場見学
 - 2 「こどもの国牧場」視察
 - 3 グループディスカッション

クローズアップ

「こどもの国牧場」視察

- 牧場視察
- 搾乳体験
- 牛の生態に関する講話

研修の総仕上げとして、実際に乳牛に触れ、搾乳を体験することで、乳製品の価値を改めて感じていただき、また食育の大切さを実感する好機として、感動を子どもたちにも伝えていただければと思います。

株式会社りそなホールディングス

受け入れ実績 17年目 実施日 8/22(月)～8/24(水) 参加教員数 16名（東京都荒川区教育委員会、東京都江川区教育委員会）

主なプログラム

1日目

- 1 りそなグループの概要とブランド戦略
- 2 りそなの子ども向け金融経済教育
- 3 経済の仕組み

2日目

- 1 総合学習のヒント「REENALプロジェクト*」
- 2 「りそな・みらいキッズマネーアカデミー」見学
- 3 企業や消費者にとってのSDGs

3日目

- 1 銀行業務の基礎知識
- 2 りそなのホスピタリティ
- 3 オリジナル授業の作成
- 4 オリジナル授業の発表・意見交換

※REENAL：りそな（RESONA）と地域（REGIONAL）を組み合わせた造語です。

クロースアップ

オリジナル授業の作成・発表

- オリジナル授業の作成
- オリジナル授業の発表
- 意見交換

りそなの地域連携の取り組みをヒントに子どもたちが「協働」について考える授業や、日々のマーケットの動きを学校ならではの長期プログラムに展開する授業など、教員の個性と情熱があふれる発表に圧倒され、企業としても学ぶことが多くありました。この研修を学校教育に活かしてもらえればと思います。

一般財団法人経済広報センター

受け入れ実績 1年目 実施日 8/19(金) 参加教員数 9名（東京都練馬区教育委員会）

主なプログラム

- 1 経済広報センターの概要、歴史、事業紹介
- 2 グループディスカッション①
 - 経済広報センターが作成した児童・生徒向け業界テキストの活用方法・発表
- 3 経団連の概要、取り組み
- 4 グループディスカッション②
 - 経済社会のあり方・発表
- 5 振り返り・意見交換

クロースアップ

グループディスカッション・発表

- サステナブルな資本主義に関する講義
- 抱える課題や必要な変革についてグループディスカッション・発表
- 経団連産業技術本部長による総評

サステナブルな資本主義の実現に関する講義を受けて実施した「これからの経済社会のあり方」をテーマとしたディスカッション・発表を通じて、経済界の活動や取り組みについて理解を深めていただければと思います。

研修風景



ライフサイクルゲームⅢを
体験（第一生命保険）

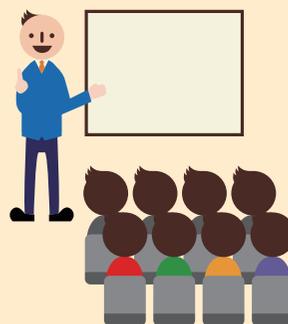


車いす体験
（セレスポ）



グループワーク
（三菱自動車工業）

現場見学（五洋建設）



名刺交換（伊予銀行）



かんな削り体験（清水建設）

研究設備見学
（電力中央研究所）



配電作業体験（きんでん）

さつまいも選別作業見学
（全国農業協同組合中央会）



鉄の板の製造工程を見学
(日本製鉄)



キャノンエコテクノパーク
見学 (キャノン)



光ファイバーの融着作業体験
(古河電気工業)



列車ダイヤについての説明
(西日本旅客鉄道)



旗振り訓練
(中日本高速道路)

参加教員の声

※（ ）内は研修先の業種

- 企業の人材育成や業務ノウハウを学んだことで、業務の効率化を図ることができた。学校現場にいただけでは学ぶことができない、将来子どもたちが過ごす社会について学ぶ良い機会だった。 (情報)
- 五感を使って直接得られる体験は貴重であり、大切だと感じた。今後も、実際に「挑戦したい」「やってみたい」という子どもたちの気持ちを大切に、指導に当たりたいと思う。 (道路サービス)
- 今回の研修を通じて、学校という環境から離れ、社会とのつながりを実感できる機会がもてたことは非常にうれしく思う。歴史や技術の伝承など学習や学校生活に結び付けて指導に活かしたい。 (建設)
- 企業の歴史や小麦粉の製造過程、創業者の生涯などを分かりやすく説明していただき、理解を深めることができた。また、紙芝居作成のグループワークでは、企業理念や企業が大切にしてきたことについて深く学ぶことができた。 (食品)
- 金融経済教育に関する教育活動のモデルプログラムである株式会社設立疑似体験では、簡略化された内容の中で株式会社の目的や仕組みを理解できた。 (金融)
- すべての製品には、企業の理念や思いが宿っていることを認識できた。「鉄」という素材の魅力・可能性を深く追求することで、世界的規模で考え、CO₂ 排出削減などの課題解決に挑む姿勢に感銘を受けた。 (鉄鋼)
- ビルなど単独の建物を作るだけでなく、将来的な街全体の発展までを見通して、広い視野・長期的な視点で事業を展開していく開発の在り方について学んだ。 (不動産)
- 操船シミュレータ体験や船の模型を見学し、海運業における事業内容や歴史について理解を深めることができた。 (海運)
- 当たり前のように思っていた宅配サービスだが、その過程には様々な人が関わっていることも実感できた。人と人とのつながりや相手の立場になって考えることを大切に続けてきたからこそ、多角的な視点から事業を拡大し、必要とされるサービスを展開していくことができているのだと感じた。 (物流)
- 見学を通して、要所の仕事は、手書きや手作業で行われているところが多くみられた。機械任せにすることなく、人の手で丁寧に仕事をする大切さを改めて感じた。 (鉄道)
- 現地研修を通じて、農地で働く人々の苦労や課題を知ることができ、刺激を受けた。また、農業の収穫から消費までの流れについても学ぶことができた。 (農業)

- 実習を通して、あいさつなどの基本の動作に始まり、現場で行う業務の楽しさや楽しさに加えて、命を守る工夫を知ることができた。 (電気)
- 子どもたちの“未来につながる社会をつくりだす力”を育てる「サス学」は、子どもたち自身で環境問題や社会課題について考える新しい学びであると知り、大変勉強になった。 (商社)
- 実際に感電したり、VRで高所から落ちたりする安全体験を通して、講義だけでは分からないことを学ぶことができ、より理解を深めることができた。 (建設設備)
- グループワークやカードゲームなどチームで行う作業を通して、柔軟な発想が生まれ、問題解決のために多様な考え方を学ぶことができた。 (サービス)
- 浄水場や下水処理場を見学し、セラミック膜のろ過システムや下水処理の仕方を学んだほか、利き水体験などを通じて上下水道の仕組みや水循環の歴史を知り、水の大切さを再認識することができた。 (水・環境インフラ)
- 水素の特性や水素社会の実現に向けた取り組みについて、動画で学び、水素自動車に水素を充填する場面にも立ち会うことができたことで、より理解が深まった。 (エネルギー)
- 今後のEVやPHEVなどの環境に配慮した取り組み目標については、自動車産業のこれからについてイメージをもって理解することができた。オンライン工場見学や小学生の相談窓口については授業づくりに組み込んでいきたい。 (自動車)
- 携帯電話や電子機器に使われている部品やその目的の説明を聞くとともに、携帯電話の分解体験から、普段見ることができない製品の仕組みについて学びを得ることができた。 (情報)
- フィルムと繊維の製造過程を見学し、素材が製品になるまでのイメージがつかめた。モノづくりの実態に触れることができ、化学の授業で生徒たちに指導する内容を改めて考えることができた。 (繊維)
- 世界に先駆け光ファイバーの実用化を実現した技術の説明に感銘を受けた。また、先進的な製品の紹介とケーブルの接続実演・体験を通して、企業の最新技術の繊細さやどれほど大容量の製品を作っているかなどを学んだ。 (非鉄金属)
- 企業の取り組みを通して、なぜDXが必要なのか、得られる価値は何かを明確に学ぶことができた。プログラミング体験授業では、効果やどのように使うと学習の質を高められるかなどを考えることができた。 (情報)

2022年度 協力企業一覧・参加教育委員会一覧

●企業

旭化成株式会社
朝日生命保険相互会社
株式会社伊予銀行
株式会社INPEX
SMBC日興証券株式会社
ENEOS株式会社
MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
一般社団法人大阪銀行協会
株式会社大林組
カシオ計算機株式会社
川崎重工業株式会社
関西電力株式会社
キッコーマン株式会社
キヤノン株式会社
キュービー株式会社
株式会社きんでん
京葉ガス株式会社
五洋建設株式会社
三機工業株式会社
清水建設株式会社
一般社団法人情報サービス産業協会
一般社団法人信託協会
住友重機械工業株式会社
一般社団法人生命保険協会
株式会社セレスポ
一般社団法人全国農業協同組合中央会
双日株式会社
SOMPOホールディングス株式会社
第一生命保険株式会社
株式会社大和証券グループ本社
大和ハウス工業株式会社
株式会社竹中工務店
TIS株式会社
一般社団法人電子情報技術産業協会
一般財団法人電力中央研究所
東京海上日動火災保険株式会社
東京ガスネットワーク株式会社
東レ株式会社
戸田建設株式会社
中日本高速道路株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社日清製粉グループ本社
ニッセイアセットマネジメント株式会社
日本アマウェイ合同会社
日本証券業協会
日本製鉄株式会社
一般社団法人日本損害保険協会
日本郵船株式会社
野村ホールディングス株式会社
株式会社長谷工コーポレーション
日立造船株式会社
古河電気工業株式会社

丸紅株式会社
みずほ証券株式会社
三井化学株式会社
三井物産株式会社
三井不動産株式会社
三菱地所株式会社
三菱自動車工業株式会社
三菱商事株式会社
三菱マテリアル株式会社
三菱UFJ国際投信株式会社
三菱UFJニコス株式会社
メタウォーター株式会社
ヤマト運輸株式会社
雪印メグミルク株式会社
株式会社りそなホールディングス
一般財団法人経済広報センター

●参加教育委員会

神奈川県教育委員会
横浜市教育委員会
千葉県木更津市教育委員会
千葉県君津市教育委員会
千葉県松戸市教育委員会
東京都教育委員会
東京都足立区教育委員会
東京都荒川区教育委員会
東京都江戸川区教育委員会
東京都大田区教育委員会
東京都葛飾区教育委員会
東京都小平市教育委員会
東京都品川区教育委員会
東京都新宿区教育委員会
東京都杉並区教育委員会
東京都中央区教育委員会
東京都中野区教育委員会
東京都練馬区教育委員会
東京都東村山市教育委員会
東京都日野市教育委員会
東京都文京区教育委員会
東京都町田市教育委員会
東京都三鷹市教育委員会
東京都港区教育委員会
東京都武蔵野市教育委員会
東京都私学財団
石川県教育委員会
静岡県教育委員会
大阪府高槻市教育委員会
大阪府能勢町教育委員会
京都市教育委員会
奈良県私立中学高等学校連合会
愛媛県教育委員会

教員の民間企業研修レポート2022

発行——— 2023年1月

一般財団法人 経済広報センター

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

Tel.03-6741-0021 Fax.03-6741-0022 URL.<https://www.kkc.or.jp/>

担当——— 国内広報部 村中 隼斗／桑原 苗代／加藤 瑞絵

編集協力—— 一般社団法人 経団連事業サービス



明日の日本を支える子どもたちのために